

## 首都圏ミートパッカー輸出協が総会、国産を積極的に輸出促進



首都圏ミートパッカー輸出推進協議会(代表理事 ㈱ミートコンパニオン阿部昌史社長)は16日にミートコンパニオンにおいて定例総会(写真は出席会員)を開催し、26年度事業計画や新規会員の承認等を決定した。阿部代表理事は「協会は首都圏・関東を中心とした地域の畜産生産者と食肉流通事業者を会員として、平成24年7月に設立され農水省からも特認団体として承認されている。国産の優良な食肉等を期待される海外市場に向けて輸出推進し、日本産食肉ブランドの認知度向上とブランドの確立推進の取り組みにより、国内生産者の生産意欲や経営に対する意識の改革、生産地の活性化、担い手育成確保等に結びつけば」とあいさつ。

1号議案で新規会員に小堀正展牧場(小堀正展代表、群馬県前橋市)の入会が承認され、役員改選では阿部代表理事、原田智昌、貴志和男の両氏が副代表理事に選任された。また25年度における取り組み事業では、農水省の25年度日本の食を広げるプロジェクト事業による「輸出に取り組み事業者向け対策事業」に基づく①海外市場開拓調査②タイおよびシンガポール市場調査の実施と報告書作成③海外販売促進活動④タイおよび香港市場における販売促進活動の報告等が報告された。

さらに26年度は、輸出支援事業として海外市場開拓調査や販売促進活動等を積極的に展開することで、会員の海外輸出をより推進できるよう図る。また海外で多くの人に日本産食肉を食べてもらえるよう、日本産ブランドの進化が認められるようになる事業を推進していく方針だ。

### 「POSランク3月その他」共栄食肉が前月に続いてワンツ一

財流通システム開発センターが全国の小売業者約150チェーン・877店舗を対象に収集した3月POS/その他製品売れ筋ベストランキング(資料面参照)によると、前月と同じく共栄食肉「味付ロースジンギスカン」(330g×3)の首位、さらに同じく共栄食肉「小樽ラムジンギスカン」(220g×3)の2位は変わらず、前月に引き続き共栄食肉がワンツ一フィニッシュを達成した。3位も前月と同じくマツオ「ジンギスカン味付特上ラム」(500g)となった。4位と5位は順位が入れ替わり、前月5位のアントレ「南光園ホルモン味噌」(220g)が4位に、同4位のプリマム「ラムスライス」(600g)が5位となった。そのほか、長沼成吉思汗「ロースジンギスカン」(600g)が前月から大きく順位を上げ、6位にランクインした。

総販売金額 1億1093万円。